

令和5年 第852回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和5年2月17日(金)		開会 15:25 閉会 17:00		
開催場所	市庁舎4階401会議室				
出席委員	窪田教育長	上田職務代理者	村上委員	坂下委員	桂田委員
欠席委員					
事務局	教育部長	教育総務課長	生涯学習 スポーツ課長	古跡GL	福田GL
	出口GL	大山GL	和久田GL	安田企画主査	上林指導主事
傍聴者					
会 議				会議の結果	
<p><b>委員会開会</b></p> <p>(教育長) 宣言および開会あいさつ</p> <p>令和4年度の教育委員会表彰式を行った。受賞した口名田小学校の5年生の取組は「福井ふるさと教育フェスタ」での発表においても、レベルが高い学習が一年間展開されていたことがわかる発表であった。特に高校では探求学習を重視しており、そこで培う資質能力は非常に重要視されている。本市では、義務教育段階においても着実に育っていくよう、土台作りになる探求的、総合的な学習を精力的に取り組んでいる。今回、口名田小学校の3グループすべてのグループが賞に入ったことは特筆すべきことだと思っている。さらに口名田小学校は、2月10日に文部科学大臣表彰を受けている。望ましい生活習慣の確立「いきいき週間」や「食育・眠育」の取組を通して、という内容で、子ども達の学習の土台、運動の土台、遊びの土台となる生活習慣が、学校全体として確立されている。総合的な学習においても、またSASAの結果も、小浜市において非常に優れた結果を出しており、他の学校の</p>					

一つの指標になるのではないかと考えている。今後そういった取組や成果がすべての学校に波及していくことを教育委員会としても頑張っており取り組んでいきたい。他に嬉しい表彰が二つある。桂田委員が、今年度の第51回医療功労賞を受賞した。全国で35名、福井県内では2名選ばれている。また今年度の小浜市ライオンズクラブスポーツ賞の表彰が行われ、上田職務代理が体育功労者賞を受賞した。

## 1 会議録の承認について

第851回教育委員会定例会会議録〈承認〉

### 会議録署名人2名の選任

第852回教育委員会定例会会議録署名委員選任〈上田職務代理者、桂田委員〉

## 2 報告

・報告第4号 諸般の報告 令和5年 1月20日～令和5年 2月16日

行事予定 令和5年 2月17日～令和5年 3月31日〈承認〉

教育長 若宮正子氏を講師に招き、旭座で講演会を行った。子ども達や若い人にも聴いて欲しい内容だった。校長を通じて子ども達に紹介をしたいと思っている。

村上委員 部活動の地域移行の検討会での現在の状況を教えていただきたい。

事務局 1月31日に、4月に向けての地域移行の検討会を行った。学校部活動の地域移行を行うための団体が、年末の動きから少し変更があり、最終確認で辞退された団体があるという報告等を行った。2月1日においては、それぞれの協会等に現時点での情報共有、意見交換等を行った。今後、保護者、教職員への説明を4月までに進めていく予定である。

### 3 議案

- ・議案第3号 令和4年度3月補正予算の要求について〈異議なし〉

村上委員 燃料費高騰により、学校でのエアコン等の使用に制限をかけているのか。

事務局 していない。

- ・議案第4号 令和5年度当初予算の要求について〈異議なし〉

上田職務代理者 いじめ等問題行動対策総合サポート事業の675千円の減額理由は何か。

事務局 今年度まで小浜第二中学校に設置していた学習支援員を来年度は廃止するためである。

上田職務代理者 部活動指導員設置事業で2名から4名に増員している。どの部活に配置するのか。

事務局 新年度に入って部活動顧問を配置した後、不足している部活動に配置するため、現時点では配置する部活動は確定していない。2名増員分は、土日曜日の部活動の地域移行を行うための外部指導者を見越して、それぞれの学校に1名ずつ配置する計画である。

教育長 部活動指導員設置事業の今年度の実績は少なく減額補正している。今後、部活動の地域移行を行うにあたって有効に満額使えるよう考えていく必要がある。部活動指導員は土日も平日も含めて配置するのか。

事務局 今後に向けて検討していく。今年度設置している2名は、平日、土曜日、日曜日を含め500時間を見込んでいる。ここ数年、実働350時間、平日に指導を行う事が難しい現状である。令和5年度予算では、平日、土日を含めて400時間を2名、残り2名は土日だけと考えている。

上田職務代理者 小浜中学校の水泳部の選手はアクアマリンに行っていないのか。

事務局 アクアマリンに行っている生徒もいるが、大半は中学校で活動している。

上田職務代理 部活動の地域移行推進事業についての資格取得に対する支援について、  
現地点で各団体から教育委員会に要望が挙がっているのか。何人ぐらい必要か。

事務局 競技によっては資格を持っていないと指導できないこともあるため、取得費用を個人負担としていることに苦慮しているという声もあった。地域移行していくにあたって、保護者にとっても指導者が有資格者であれば安心感につながると考  
える。資格取得については、市の方で支援していく予定である。予算では、アシ  
スタントコーチとして1人35千円の費用を1団体2名分、5団体の予定で計上  
している。受け皿になっていただける団体が決まり次第、支援していく。

- ・議案第5号 小浜市立小学校および中学校教育機器、備品等整備基金の設置および管理  
に関する条例および三宅茂子基金の設置および管理に関する条例の廃止に  
ついて《異議なし》

- ・議案第6号 小浜市営体育施設の設置および管理条例の一部改正について《異議なし》

上田職務代理者 中央グラウンドの使用時間は9時から18時までか。二中や若狭高校の  
陸上部等の部活動で使用している場合も18時に終わっているのか。

事務局 現在、中学校の部活動は、ガイドラインで年間を通じて一定の時間で終了して  
いる。断定はできないが、18時までには終了していると思う。

村上委員 総合運動場のジョギング・ウォーキングロードはどこにあるのか。

事務局 施設の外周に設置した走路である。

上田職務代理者 使用料金を1時間から30分にしたのは市民等からの要望か。

事務局 市民体育館の指定管理者であるオーイング・アイビックスから要望があり、利

用者の利便性を考慮して30分単位にした。

- ・議案第7号 小浜市立小学校および中学校の管理規則の一部改正について《承認》  
教育長 事務職員の学校校務、経営への参加は、実質的には行われている。今回、法令上明記されたことで、本市の規則も改正することにした。各学校とも、市から配布された予算を教育活動に有効使用できるよう行っている。
- ・議案第8号 小浜市児童福祉審議会委員の推薦について《上田職務代理者を推薦》

#### 4 教育長報告

学校部活動の地域移行について

学校部活動の地域移行について、その後の状況の進展、今後のスケジュールについて現時点での様子を伝える。昨年末、国の予算が大幅に減額された。福井県では、学校部活動の地域移行について、県を挙げて進めていく方針を決定した。そのため県では、国の予算の減額分に対して補助を行う予定で、県議会に予算要求をしている。議会に承認されれば、県2分の1、各市町2分の1負担で補助を行う予定である。これにより本市は、当初計画どおり学校部活動の地域移行の方針を変えずに進めていくことができる。今年度の夏頃には5団体の受け皿があったが、その後3団体になり、第2回説明会直前には1団体になった。団体の減少は、国の予算減額により今後の展開が見通せず、国の方針が不透明な点が理由であると考え。また、部活動の地域移行を考えていく上で、責任の所在、人材の確保、指導者の資格更新・取得、団体運営の進め方等、各団体が主体的に考える中で、再検討されたものと考え。それぞれの団体が着実な第一歩を踏み出すために必要なプロセスと捉えている。学校部活動の地域移行は令和5年度4月からスタート予定だったが、少し遅らせることにした。現時点では来年度の夏大会終了後、3年生引退後の新体制になった

時を予定している。ただし、すでに受け入れ準備が整っている団体については、学校や保護者、生徒との共通理解を図った上で、4月から地域クラブ活動として実施していく。大会参加についても同様に、学校、保護者、生徒の合意があれば、地域クラブチームとして参加し、教育委員会としてもそれを認める考えである。それ以外の種目については、それぞれタイミングを見て進めていきたい。令和5年度途中から参加する予定の団体もある。その動きを加速できればと思う。学校の動きは令和5、6、7年度で段階的に部活動の活動日数の減少を図る。現時点では、若狭地区の中体連としては、令和8年度の活動をゼロにするとは明言していないが、令和5年度は、4月から土日曜日の活動日数を月4回から3回へ減らす取決めを行っている。今後本市としては中体連の方針等を注視しながら、連動して検討していく。それぞれの競技団体への第2回説明会では色々な意見をいただいた。競技団体も様々な考えを持っており、競技志向が強い団体は、目的意識のある子ども達を受入れたいと考えている。競技志向重視以外の子ども達の活動場所の確保が必要であるという意見もあった。競技団体の体制、事情等は、色々あると思う。これからも進めていく中で色々な課題がでてくると思う。大きな方向としては、学校部活動の地域移行、個人としては移行ではなく地域展開、地域でスポーツ、文化芸術活動を展開していける仕組みづくりが求められていると思っている。そこに向けて教育委員会としては最大限支援していきたい。令和5年度の小浜市の当初予算では、学校地域コーディネーターの人件費、資格取得支援等を計上している。今後のスケジュールは、令和4年2月末から3月にかけて浜中、二中の学校職員へ説明会を行う予定である。小学校には、校長会で説明する。保護者には、現中学生、現小学校6年生、5年生辺りまでを対象とする。会場を設けての説明会では、参加人数に限りがあるので、オンデマンド（ユーチューブ）配信を行う。保護者からの質問、要望等を受け、回答は年度初めのPTA総会に出向いて対応したい。小学校の方は、文書で回答を渡す予定である。団体の方は、個別にヒアリングを重ねていく。

村上委員 コーディネーターは具体的にどういった形で動かれるのか。

事務局 各団体、市教委、学校との連携を図るための調整役をしていただく。説明会の開催や情報発信を担っていただく。

## 5 その他

- ・市立図書館の駐車場について

事務局 小浜市まちなか交流施設設置条例の中に位置付けられ、指定管理者が施設管理を行っている。市では商工観光課が担当し、今月関係者一同で協議を行った。商工観光課の方で注意看板を設置し、様子を見ているところである。

村上委員 観光施設もあり、観光客が駐車できないのではイメージ的にどうかと思われる。対応をお願いします。

## 委員会閉会

(教育長) 宣言

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委員 上田俊彦 教育長職務代理者

委員 桂田理津子 教育委員